



☎ 591-7376  
akito.n@m3.  
dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

# みどり清流

2003年9月発行 第22号

日本共産党 中野あきと事務所  
日野市南平7-6-72 ☎599-3350  
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900円  
日曜版 一か月 800円

お申し込みは  
南多摩事務所 ☎582-0505  
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など  
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡  
南平駅  
中野あきと事務所

ヤマダ  
デンキ

北野街道

9月市議会・中野あきと議員  
一般質問・その1

## 保育環境の充実を求めて

### 貧弱な日野市の賄い材料費 月一回の布団乾燥を

賄い材料費というのは、保育園の子どもたちの食事とおやつにかかわる食材料費のことです。本来は子ども一人当たりの単価を決めて人数をふまえて予算が組まれるのが当たり前のことですが、これまでは総額先んありきで決めていきます。

しかもこの間、受け入れ児童数が増えているにもかかわらず、逆に年々行革で一律にカットされてきているために、予算の都合上タンパク源のお肉などはほとんど使えないなど、保育士さんによれば食事が心配される事態となっています。

日野市ではこういう予算の決め方をしてきたために14年度実績では、延長保育のおやつ代まで含めて、子ども一人当たり二一四円まで落ち込みました。

昨年12月の議会で中野あきと議員がこの問題を取り上げ追及しましたが、さすがに15年度から単価計算で予算措置をするようになったようで、表の数字のような若干の改善が見られま

必要「を認めました。及。市長も「充実をはかる

保育園・賄い材料費の比較(2003年)

	子ども一人当たり	延長保育おやつ代一人
日野市	230円	50円
多摩市	325円	100円
八王子市	282円	100円
立川市	285円	100円

月一回、六月、七月は月二回で年十四回あった布団乾燥は、これも行革で半分の年七回に削られました。アトピー、アレルギー疾患の子どもの増えるなか、せめて月一回は保護者の方々の切実な願いです。中野議員の繰り返し願いの要望に、部長も「そういう方向ですすめたい」と答弁しました。

一般質問・その2

## あらためて平山小と平山台小の統廃合を考える

6月議会に引き続きの質問ですが、今回は両校の保護者が共同して対応できる問題である「統合後の平山小の大規模化」に絞って質問を行ないました。(以下、中野議員が指摘した点)

- ☆ 統合後18学級の学校となる。
- ☆ またその後も区画整理や宅地化農地を5万㎡以上も抱える地域の開発などによる人口増の可能性がある。
- ☆ 今後、市内全体で18学級以上の学校が8校、20学級を超える学校が3校も予想され、人口減少の中で小規模校だけが焦点となった、いわゆる適正規模適正配置の基本方針自体を見直す必要がある。

これに対し市教育委員会は「大規模校は国では31学級以上」などと、50年も前の敗戦直後につくった基準を持ち出し答弁。中野議員は、全国的な教育環境改善を求める保護者・国民世論の広がりの中で、19学級以上の大規模校を解消している自治体の取り組みの実態を示しながら、大規模校を政策的に生み出す今回の統廃合計画について真剣な再検討を

求めました。

また、保護者、住民との信頼、協力にもとづく開かれた教育行政をすすめるという点からも、合意なき強行は絶対にやってはならないことを指摘、重ねて慎重な対応を要望しました。



### 草の根から

匿名の封書が私の事務所に投函されていました。「お願いです。ぼくたちの学校なくさないでください。ぼくは学校がだいすきです」と子どもさんの字。「私は平山台小の卒業生です。私たちのほっとできる場所を、戻れる場所をなくさないで下さい。私は緑の多いこの学校が大好きです」とお母さんの文字か。

▼統廃合問題を審議した一日の臨時市教育委。小規模校の一般的なメリット・デメリット論や、委員自身の昔の体験などは話されましたが、今の子どもや教育をめぐる困難、説明会の保護者・住民の声の真意は何かの議論はなく、あらためて教育委員会について考えさせられました▼一方全国を見れば地方独自の新しい流れも。教育委員会と教職員組合が同じテーブルにつき、父母代表、議会代表、子ども代表などを含めた会議を立ち上げた高知県や長野県。市政面で弱点を抱えている自治体でも、硬直した教育行政を改め、合理的な方向へ転換する流れも広がっています。

# 9月市議会には、こんな条例が提案されています

## 子どもの医療費助成制度

### 四才未満までの所得制限を撤廃する条例

乳幼児医療費の所得制限を四歳未満まで撤廃する、という条例改正が提案されました。この条例が可決されれば、来年の10月から実施されることとなります。

これは先の6月市議会で日本共産党の提案が契機となつて『乳幼児医療費助成制度の拡充を求める決議』が全会一致で可決されたことを踏まえて提案されたものです。

## 下水道料金 値上げする条例も

標準世帯（月18m<sup>3</sup>排出）で月額236円の負担増に

下水道料金の値上げを内容とする「下水道条例」の改正も提案されました。

市は「四年に一度の見直し」「汚水処理費は使用料で賄うのが原則」として

しかし市民の負担は年間約2億円（標準世帯で2800円余）もの増となりま

## 住居監視型社会づくりの危険性

### 警察活動強化に自治体の負担増も

「犯罪のない安全な街」は住民の切実な願いですが、防犯など「生活安全活動」を市民の責務とし、警察と

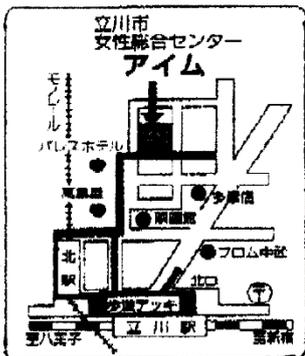
の連携強化をうたう条例は人権侵害や住民相互の監視社会にみちを聞く危険もあります。

皆さんのご意見をお寄せ下さい



田川ゆたか事務所 主催  
シンポジウム  
**若者の就職難・雇用問題  
解決の展望をさぐる**  
◎9月27日(土) 14:00~17:00  
◎立川女性センター・アイムホール  
立川駅北口徒歩5分、7-7立川内  
パネリスト ■田川ゆたか ■坂井 希(ジャーナリスト)・他  
お問い合わせ・田川ゆたか事務所 ☎523-2589

日本共産党 演説会 とき・10月1日午後6時開場  
ところ・日本武道館  
【弁士】 **不破哲三**  
党議長・衆議院議員  
地下鉄東西線  
・半蔵門線  
都営新宿線  
[九段下駅]下車徒歩5分  
**どうしたら日本の政治を変えられるのか**  
日本共産党の考え方をお聞きください  
日本共産党東京21区予定候補  
**田川ゆたか** も訴えを行ないます



## 短 信

自衛隊の派兵は「お茶会への出席じゃあない」とアメリカの政府高官。緊迫するイラク情勢に派兵は「年内はむずかしい」と躊躇していた日本政府への厳しい注文です。一喝がきいて、さっそく政府は月内にも調査団派遣と積極姿勢に転じました▽こんな政府に突き付ける日本共産党の新しいポスター『いつまで続けるアメリカいいなり』ができました。『生活不安』をとりのぞく政治を『若者に仕事を』のポスターと一緒に、地域の中にも広めていきます▽九月一日の市教育委員会を傍聴しました。平山小と平山台小の統廃合問題の結論は持ち越しとなりましたが、児童や父母・地域にとつては大問題なのです。職員を介しての話聞くだけではなく、教育委員の方々自身が、ぜひ地元関係者と膝を交えて話し合っ